

エコアクション 21 環境レポート

2019年度 第12期

(2019年3月1日~2020年2月29日)



株式会社 三友金属

〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2

TEL.092-937-7700

FAX.092-937-7701

2020年 4月23日 発行

目次

1. 取組の対象・活動	1
2. 環境経営方針	2
3. EA21 実施体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 実施した取組内容及び実績・取組結果とその評価	6～15
7. 次年度の環境目標及び環境経営計画	16
8. その他の環境活動 (8-1 太陽光発電)	16～17
(8-2 緊急避難訓練)	18
9. 環境関連法規等の遵守結果	19
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	19



1. 取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 三友金属 代表者 遠山 貴広

(2) 所在地

本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2
緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町 41-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 古賀 裕子 TEL.092-937-7700 FAX.092-937-7701
担当者 総務部 岩下 政盛 Mail:metal@sanyukinzoku.co.jp

(4) 事業内容

- ・ 建築資材用スチール、ステンレス、アルミ製品の設計、製作及び販売
- ・ 建築工事・屋根工事・鋼構造物工事・板金工事・内装仕上工事・建具工事
- ・ サイン工事（看板サイン設計・施工）・電気工事・造園工事

(5) 事業の規模

売上額 2019年度（第12期） 7.65億

区分	本社	工場	緑栄（造園事業部）	合計
従業員	22名	10名	0名	32名
延べ床面積	77 m ²	865 m ²	66 m ²	1008 m ²

(6) 事業年度 3月～翌年2月

(7) 法人設立年月日 2003年4月

(8) 資本金 1千万円

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

(1) 対象組織 株式会社 三友金属

本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2
緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 41-1

(2) 対象外組織 なし

全組織、全活動を対象とする

2. 環境経営方針

基本理念

株式会社 三友金属は、すべての事業活動、製品から生じる環境への影響を的確に捉え、地球環境との調和・共生を目指します。

また、地球温暖化問題は、次世代にも及ぶ長期的で人類共通の問題であることを十分に認識し、社員一同で未来につながる地球環境づくりに取り組みます。

行動指針

当社では環境経営システムを構築し、とくに以下の事項について重点的に取り組み継続的改善に努めます。

1. 省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルに努めます。
3. 節水に努め、水資源の保全に努めます。
4. グリーン購入に努めます。
5. 化学物質を適正に使用・管理します。
6. 環境に配慮した製造、施工に努めます。
7. 当社に適用される環境に関する法規制等を遵守します。
8. 環境への取り組みは、毎年環境活動レポートに取りまとめ、広く外部にも公表します。

制定日 2016年7月29日

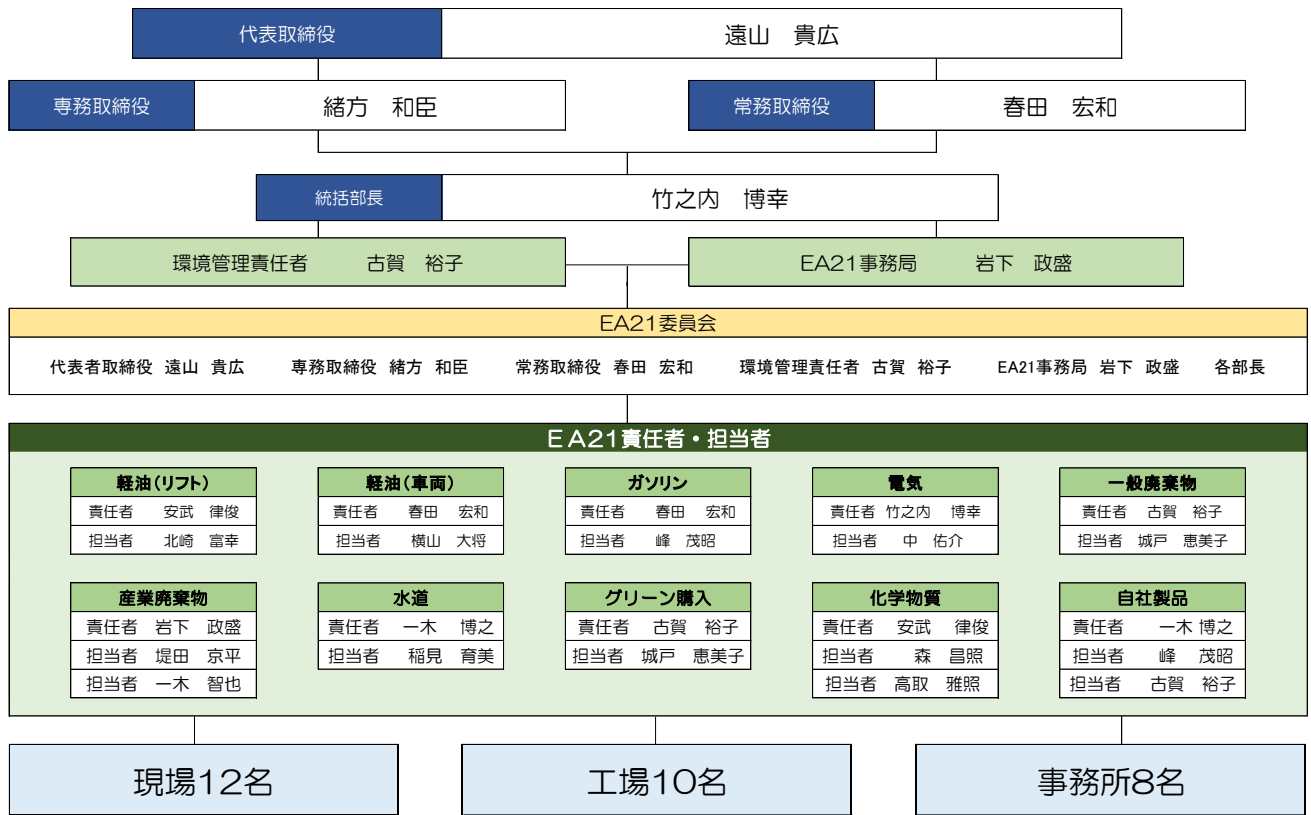
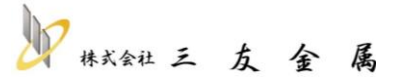


代表取締役 遠山 貴広



3. EA21 実施体制

EA21実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する責任と権限を持つ。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。 ・環境経営目標・環境経営計画書・環境レポートを承認する。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理をする。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。 ・毎年環境経営目標・環境経営計画書を作成する。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ・環境レポートの確認をする。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口として情報の収集と伝達を行う。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回開催し、取組状況を確認するとともに、評価を行い問題点があれば、必要は是正処理の検討を行う。
EA21担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境経営目標、環境経営計画の実施状況を確認する。 ・建設工事における環境活動を推進する。 ・自部門に関連する法規制等を遵守する。 ・3ヶ月に1回開催し、取組状況を確認するとともに、各部門の実施評価を行い問題点があれば、必要は是正処理の話し合いを行う。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4. 環境経営目標

- ・環境経営目標は6項目を設定し、2015年度を基準とし、単年度目標、中長期目標を設定しています。
- ・各目標に対してはサイト区分を(事務所・工場)、(建設現場)と分けて設定しました。

環境目標	サイト区分	単位	2015年度 基準年	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO ₂	36,918	36,548 (△1%)	36,179 (△2%)	35,810 (△3%)	35,441 (△4%)	35,072 (△5%)	
	建設現場	kg-CO ₂	70,589	69,883 (△1%)	69,177 (△2%)	68,471 (△3%)	67,765 (△4%)	67,059 (△5%)	
	全社合計	kg-CO ₂	107,507	106,431	105,356	104,281	103,206	102,131	
1	(1)軽油使用量の削減	工場	L	696	689 (△1%)	683 (△2%)	675 (△3%)	668 (△4%)	661 (△5%)
		建設現場	L	26,898	26,629 (△1%)	26,360 (△2%)	26,091 (△3%)	25,822 (△4%)	25,531 (△5%)
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	5,369	5,315 (△1%)	5,262 (△2%)	5,207 (△3%)	5,154 (△4%)	5,100 (△5%)
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	63,195	62,563 (△1%)	61,931 (△2%)	61,299 (△3%)	60,667 (△4%)	60,035 (△5%)
廃棄物排出量の削減									
2	(1)一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	2,079	2,058 (△1%)	2,037 (△2%)	2,017 (△3%)	1,996 (△4%)
	(2)産業廃棄物の リサイクル率向上	工場 建設現場	%	84	85	85	85	85	85
3	水使用量の削減	事務所・工場	m ³	300	297 (△1%)	294 (△2%)	291 (△3%)	288 (△4%)	285 (△5%)
4	グリーン購入の推進 (購入金額の割合)	事務所	%	不明	36	37	37	37	37
5	化学物質の 適正使用・適正管理	工場	kg	288	適正使用・適正管理に努めます				
6	環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	受注件数	175	177	179	181	182	185

- 備考) ①二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、(株)F-POWERの平成27年度調整後排出係数(0.358kg-CO₂/kWh)を用いた。
- ②()は基準年に対する削減率を示す。

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	軽油使用量の削減	工場	①急発進・急加速を行わない。
		建設現場	①アイドリングストップ手順を決め、実行する。 ②急発進・急加速を行わない。 ③タイヤの空気圧を定期的に確認する。
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所・工場	①アイドリングストップ手順を決め、実行する。 ②急発進・急加速を行わない。 ③タイヤの空気圧を定期的に確認する。
		事務所・工場	①室内温度計を設置し、冷房時25～28度、暖房時24～26度を目安にエアコン設定温度を調節する。 ②帰社時は、パソコンは主電源を切り、プリンターは省エネモードにする。 ③休憩室やトイレなどの電気を使用時のみ点灯する。 ④機械を使用していない時は、主電源を切る。

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量になるように考慮し、残部がでないように配慮する。 封筒やダンボールは資源ゴミ置き場、資源原価率を向上させ排出時には、重量を計測する。 両面印刷や裏紙利用で紙使用量を削減し、排出時には分別排出を行い、ペーパーリサイクル率を高める。
		工場 建設現場	現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。 収集時での分別の確認と報告を徹底する。

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	水使用量の削減	事務所・工場	水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。 社用車の洗車の際は、水を必要最小限に使用する。

4. グリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	グリーン購入の推進	事務所	エコ商品の対象商品を調査し、エコ商品への切り替え。 エコ商品の購入金額を記録。

5. 化学物質の適正使用・適正管理

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	化学物質の適正使用と適正管理	工場	化学物質の適正使用・適正管理のため、購入量を記録する。 使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。

6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標		サイト区分	活動項目
(1)	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所	ホームページの商品紹介を拡充させる。
		工場	営業先を開拓していく。

6. 実施した取組内容、取組結果及びその評価

6-1 環境経営目標と達成状況

2019 年度における環境経営目標と達成状況は以下の通りです。

毎年増加する売上と環境経営目標とが適切ではないと判断し、影響の出やすい二酸化炭素排出量の削減を売上対比として目標を設定しました。

計算方法は、基準年の売上より 2019 年度の売上は 1.39 倍なので目標値に×1.39 とし、算出しています。

環境目標	サイト区分	単位	基準年 平成27年度 (H 27.3～H 28.2) 実績値	2019年度 (2019年3月～2020年2月)		目標 達成率	目標 達成判定	
				目標値	実績値			
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO ₂	36,918	35,441	46,426	76%	×	
	建設現場	kg-CO ₂	70,589	67,765	79,725	85%	×	
	全社合計	kg-CO ₂	107,507	103,206	126,151	82%	×	
1	(1)軽油使用量の削減	工場	L	696	668	791	84%	×
		建設現場	L	26,898	25,822	30,903	84%	×
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	5,369	5,154	6,005	86%	×
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	63,195	60,667	85,080	71%	×
廃棄物排出量の削減								
2	(1)一般廃棄物排出量の削減(その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	2,016	2,129	94%	△
	(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	工場 建設現場	%	84	85	97	-	○
3	水使用量の削減	事務所・工場	m ³	300	288	264	109%	△
4	グリーン購入の推進(購入金額の割合)	事務所	%	不明	37	77	-	○
5	化学物質の適正使用・適正管理	工場	kg	288	化学物質の適正使用量・適正管理に努めます	1,617	-	○
6	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	175	182	247	135%	○

↓ 売上対比にすると・・・

環境目標 (売上対比)	サイト区分	単位	基準年 平成27年度 (H 27.3～H 28.2) 実績値	2019年度 (2019年3月～2020年2月)		目標 達成率	目標 達成判定	
				目標値	実績値			
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO ₂	36,918	49,263	46,426	106%	○	
	建設現場	kg-CO ₂	70,589	94,193	79,725	118%	○	
	全社合計	kg-CO ₂	107,507	143,456	126,151	114%	○	
1	(1)軽油使用量の削減	事務所・工場	L	696	928	791	117%	○
		建設現場	L	26,898	35,892	30,903	116%	○
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	5,369	7,164	6,005	119%	○
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	63,195	84,327	85,080	99%	△

備考) ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、(株)F-POWERの平成27年度調整後排出係数

・目標達成率の算定方法 削減目標の場合：目標値/実績値×100 [%]

増加目標の場合：実績値/目標値×100 [%]

・目標達成判定の区分定義 : ○・・・目標達成率≧100%

△・・・100>目標達成率≧90

×・・・目標達成率<95

その結果、二酸化炭素排出量の削減においては、ほぼ目標達成となりました。

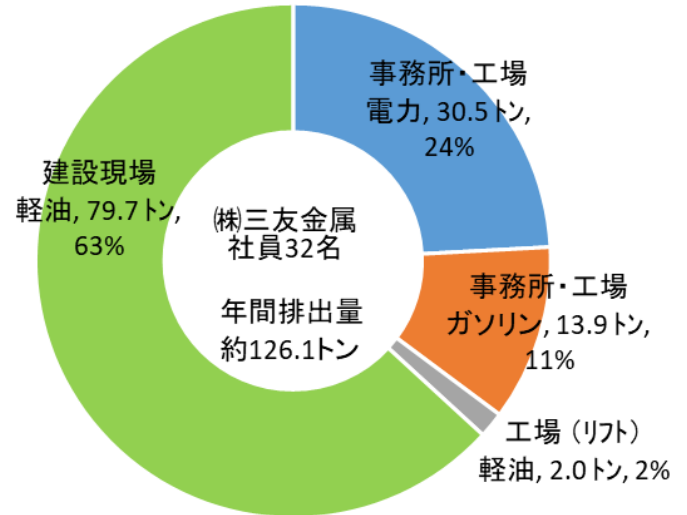
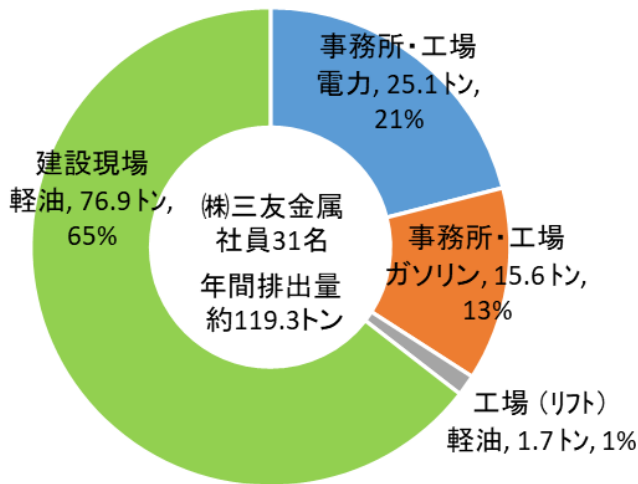
6-2 二酸化炭素排出量の用途別割合

弊社の二酸化炭素排出量を用途別でグラフ化すると次のようになりました。

2018年と比べても、使用用途は、さほど変わりありません。

2018年 二酸化炭素排出量 [トン]

2019年 二酸化炭素排出量 [トン]



社員一人当たりの二酸化炭素年間排出量 約3.84トン

社員一人当たりの二酸化炭素年間排出量 約3.8トン

建設現場への移動や製品の輸送で軽油を使用する量が大半を占めています。

経費削減も兼ねて、次年度の課題となりました。



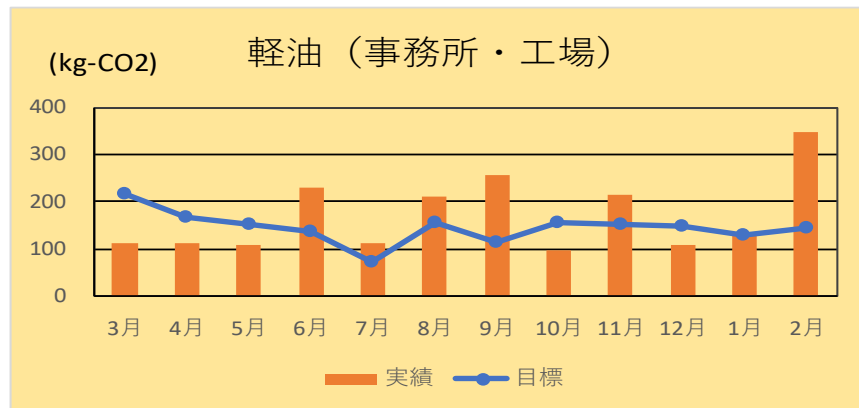
6-3 二酸化炭素排出量の実績(月毎)

①軽油（事務所・工場）

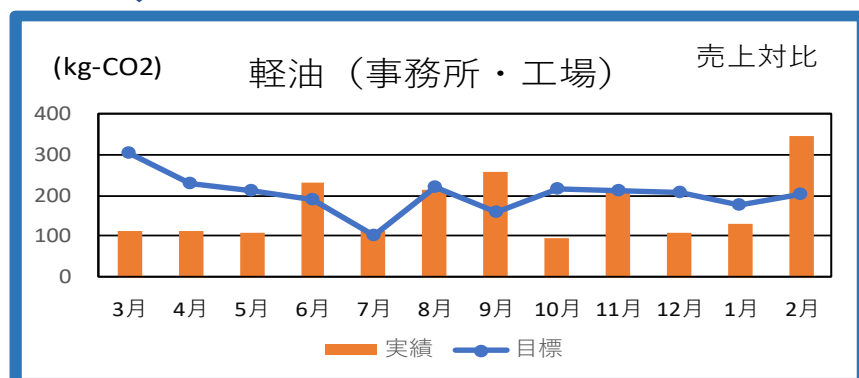
事務所・工場での軽油使用は工場のリフトで使用しています。

基準年では2台あったリフトが1台になったことで削減できると思っていましたが、

売上対比にしても、目標を達成できている月とできていない月と大幅に違うので、引き続きアイドリングストップや急発進、急停止をしない様に声掛けします。



売上対比にすると・・・

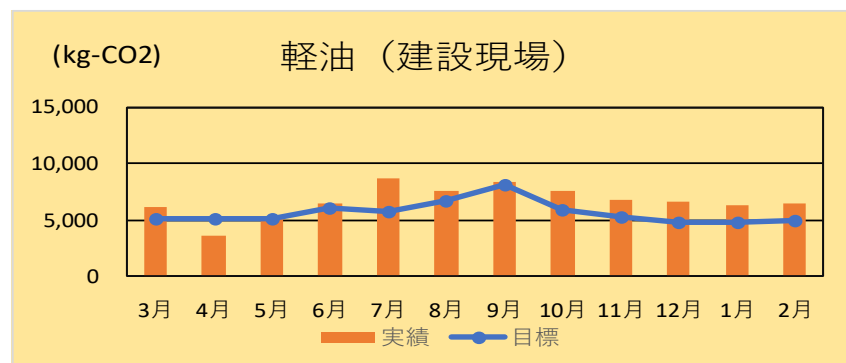


②軽油（建設現場）

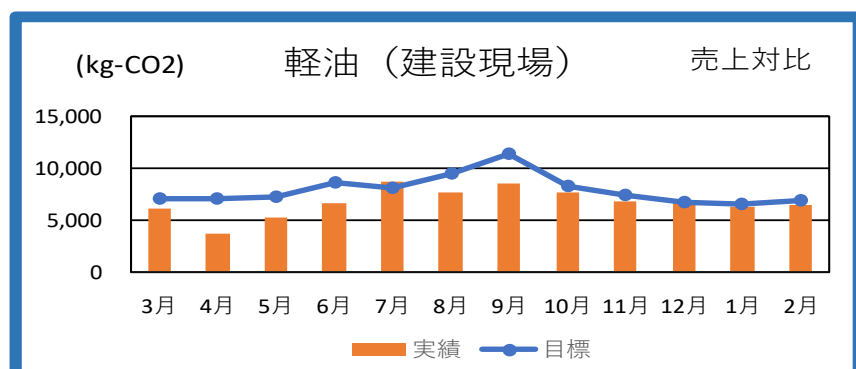
ハイエース5台、トラック5台の軽油量です。

毎月軽油量と走行量で燃費を計測したりと削減に取り組まましたが、昨年とあまり変わっていない様です。

車の中での休憩など、工夫が必要とされます。

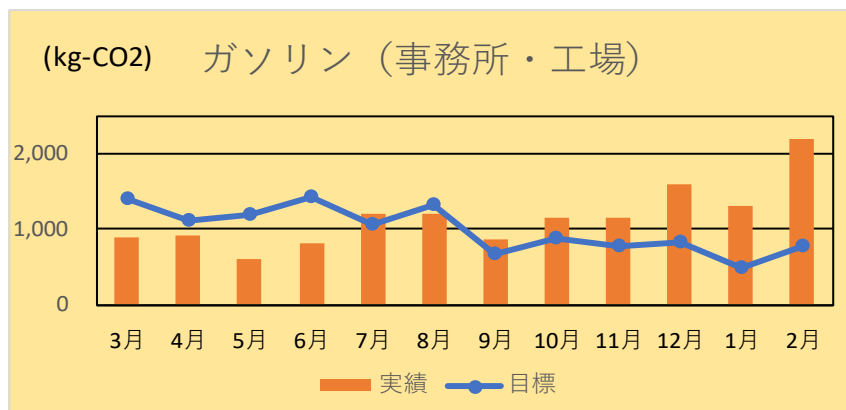


売上対比にすると・・・

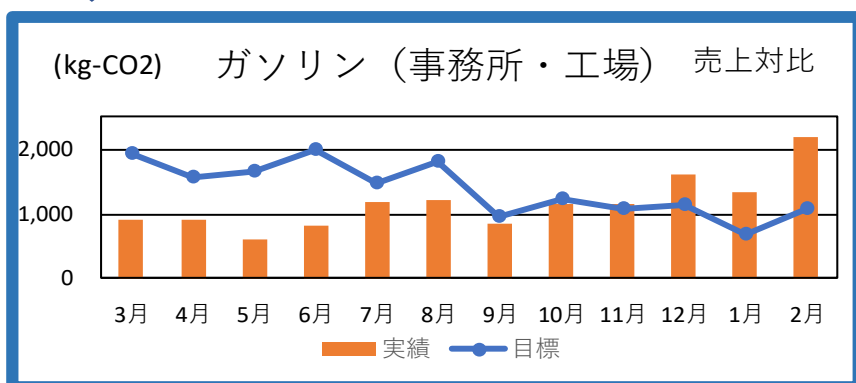


③ガソリン（事務所・工場）

営業車のプリウス5台の燃料です。
2019年度の売上が2015年の基準年に
比べ、年度末が高くなっており、
売上対比にしても、年度末の目標は
未達成です。



売上対比にすると・・・

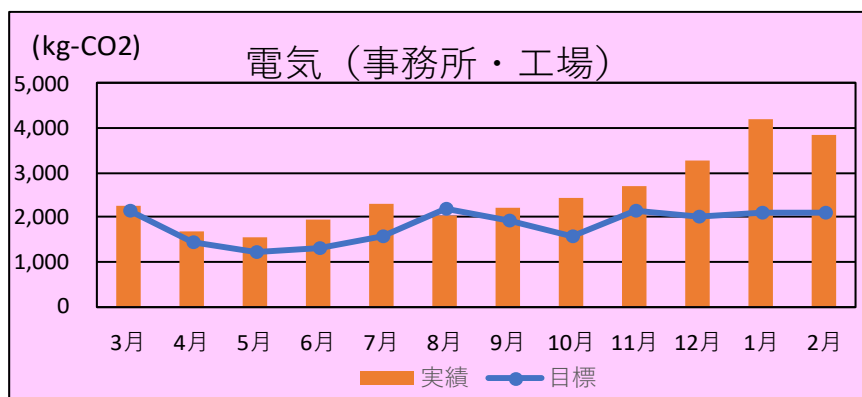


④電気（事務所・工場）

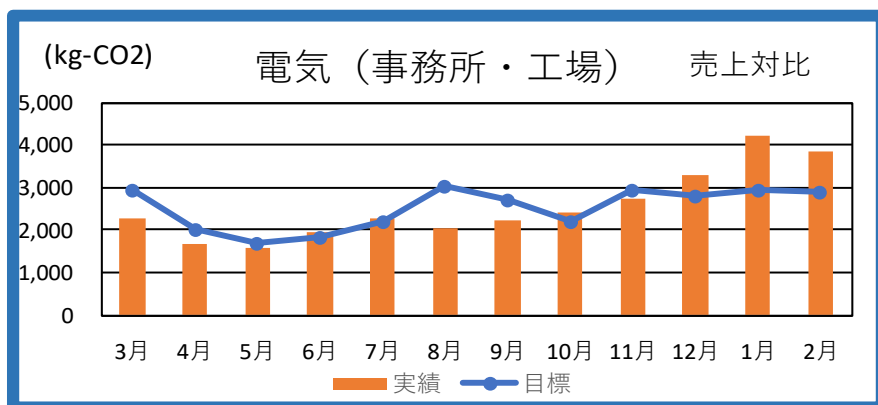
電気の使用量も、残業等の時間外労働が
増えるため売上対比にしています。
ガソリン使用量と同じで年度末は
目標未達成です。

年度末に工事が集中したことも
ありますが、

作業効率化のために、レーザー機械、
冬場はヒーター、夏場はスポットクーラーなどの
設備投資を図ったためと思われます。
次年度はこの分を含め、削減により
一層取り組まなければなりません。



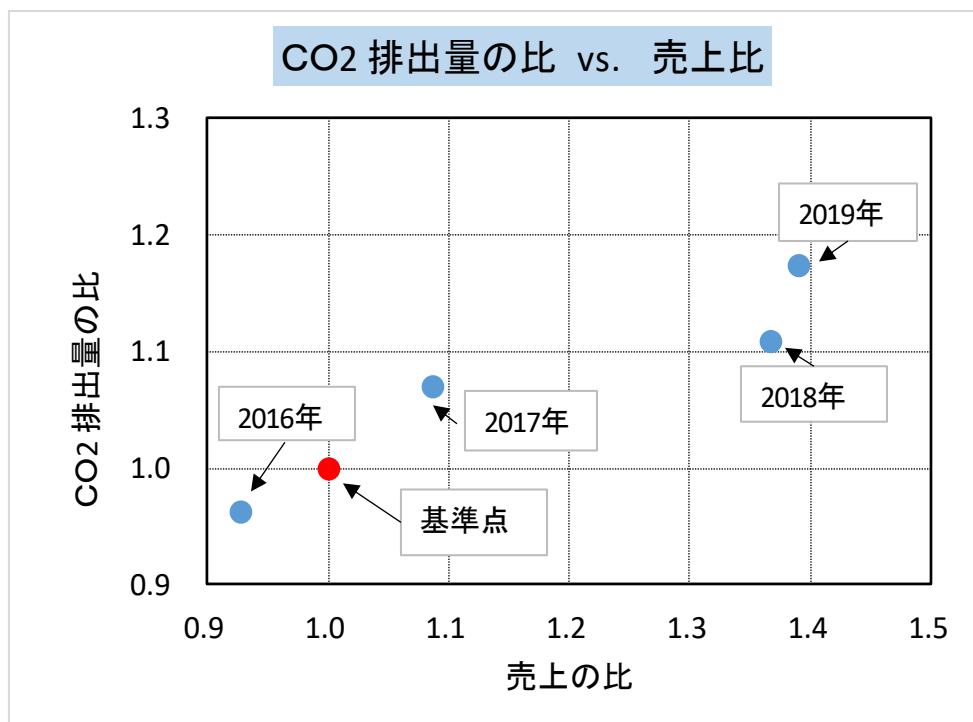
売上対比にすると・・・



6-4 売上比と二酸化炭素排出量の比

目標設定を売上対比にしたことで、ほぼ目標達成に至りましたが、
実態として売上が増えた分だけ、二酸化炭素排出量が増えたのか、
検証してみると、下記のようにになりました。

年度	売上比 = 当該年度売上 ／基準年度売上	CO2 排出量の比 = 当該年度CO2排出量 ／基準年度CO2排出量	売上比 の平方根
2015	1.000	1.000	1
2016	0.927	1.012	0.963
2017	1.087	1.071	1.043
2018	1.367	1.109	1.169
2019	1.390	1.174	1.179
2020	(1.545)	—	



売上が、基準年の売上に対して増大すると CO2 排出量も増えている。しかし、売上の比が 1.4 倍になっても、CO2 排出量は 1.4 倍とはならず、1.15 倍程度である。

売上の平方根 ($\sqrt{\quad}$) が、実績値に近い(上表を参照)。売上が 2 倍になっても、CO2 排出量は 2 倍ではなく、 $\sqrt{2}=1.41$ 倍程度と思われる。

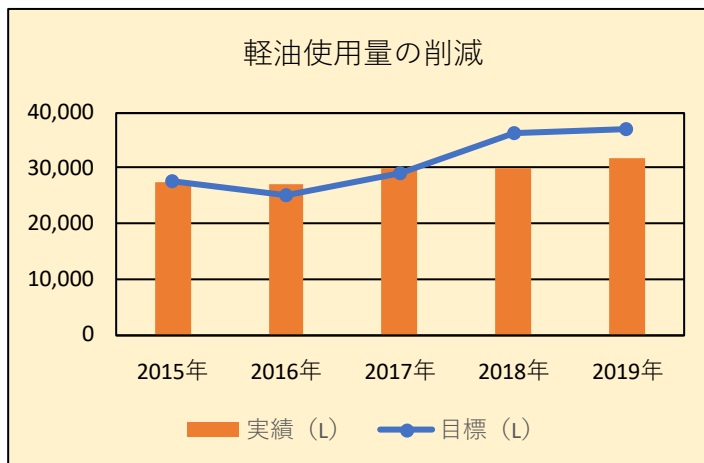
したがって、売上あたりの CO2 排出量を効率指標(原単位、建設業ガイドライン 2017 66 頁、33 頁を参照)とすると、緩い目標値となる。

6-5 各項目の経年変化

1) 軽油使用量の削減（サイト：全体）

軽油の年間推移グラフ（売上対比）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (L)	27,594	25,128	29,203	36,403	36,845
実績 (L)	27,594	27,114	30,069	29,994	31,694



事務所・工場での軽油使用はリフトの燃料です。エコアクション会議で、リフトに「アイドリングストップ」の警告を貼ることに決まり、取り組みました。

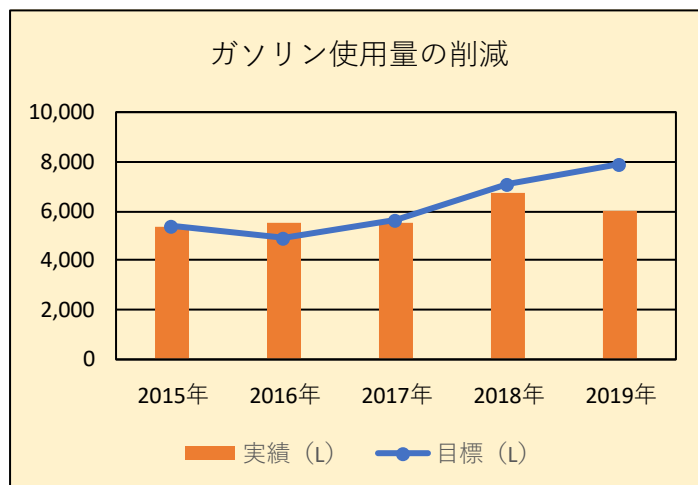


建設現場での軽油使用は、ハイエース（5台）やトラック（5台）の燃料です。引き続き、軽油使用量削減、及び経費削減のために、乗り合いや経路の工夫などで削減を心掛けていきます。

2) ガソリン使用量の削減（サイト：事務所・工場）

ガソリンの年間推移グラフ（売上対比）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (L)	5,369	4,889	5,681	7,081	7,882
実績 (L)	5,369	5,530	5,519	6,711	6,004



ガソリンにおいては、営業車（プリウス）5台の燃料です。打合せの回数を減らす等、営業の取組み方も改善しながらエコ活動していきたいと思えます。

社員共有のLINEにて毎月お知らせし、意識を高めるように取り組んでいます。

目標額（前年度対比3%削減）※前年度対比は月商での割合から算出

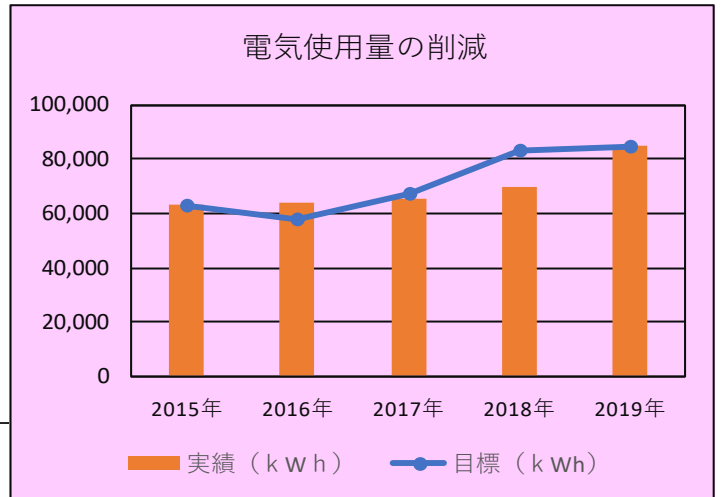
	ETC利用料金	ガソリン使用料金	軽油使用料金
10月目標	471,887円	86,784円	314,591円
8月目標	382,377円	70,322円	254,918円
8月料金	370,228円	67,073円	239,462円
8月差額	12,149円	3,249円	15,456円
3月～8月 累計差額	-152,748円	24,167円	18,689円

※差額は目標金額から毎月使用金額を引いたものです。今期を通して差額が出た場合は報酬の財源とします。

3) 電気使用量の削減（サイト：全体）

電気の年間推移グラフ（売上対比）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (kWh)	63,195	57,557	66,885	83,366	84,382
実績 (kWh)	63,195	63,606	65,368	70,009	85,080



電気の使用量は売上対比でも、目標達成できていませんでした。

作業の効率化の為、レーザー機械、冬場のヒーター、夏場のスポットクーラー等、設備投資した為と思われます。

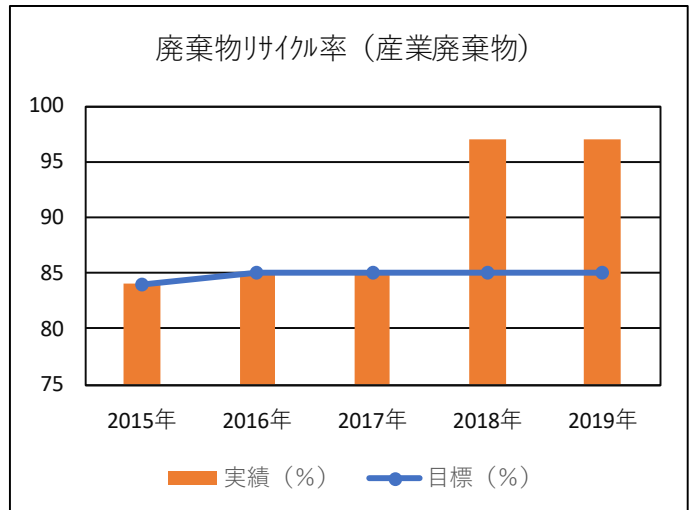
事務所や休憩室に温度計を設置し、温度設定を心掛けています。



4) 廃棄物排出量の削減（サイト：全体）

4)-1 廃棄物リサイクル率（産業廃棄物）の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (%)	84	85	85	85	85
実績 (%)	84	85	85	97	97



産業廃棄物の仕分けがだいぶ浸透してきており、リサイクル率が前年同様良かったです。

Reduce（排出抑制）

Reuse（再利用） の3Rを心掛けていきます。

Recycle（再生利用）



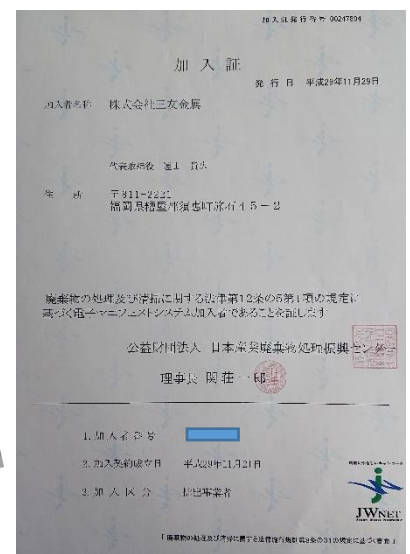
分別も細かく行っています。

分別 = 整理整頓
心掛けています

大きなゴミ分別表を掲げてわかりやすくしています。

平成 29 年に電子マニフェストを導入し、ペーパー管理より完全移行しました。

- 電子マニフェストにより
- ・事務処理の効率化
 - ・法令の遵守
 - ・データの透明性
- などのメリットがあります。

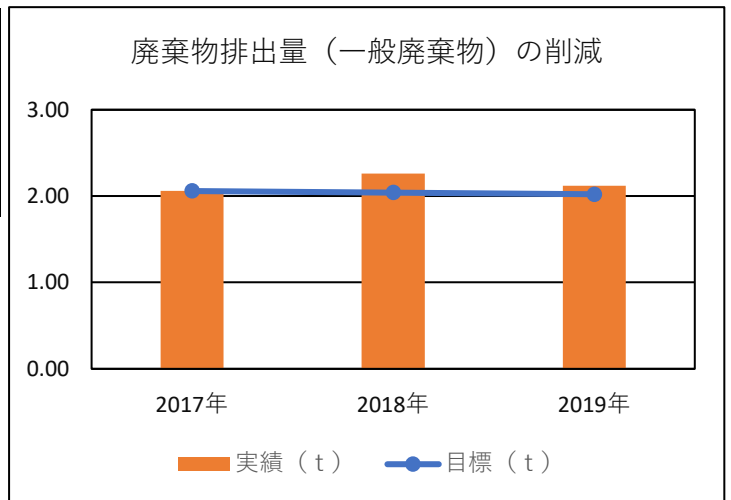


4)-2 廃棄物排出量（一般廃棄物）の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (t)		現状把握	2.06	2.04	2.02
実績 (t)	不明	不明	2.06	2.26	2.12

前年に引き続き、一般廃棄物の排出量は目標を超えてしまいました。

一般廃棄物の中に、紙などの資源となる物も含まれており、再度、取組仕直そうと思います。



一般廃棄物は、須恵町指定のゴミ袋代、塵芥収集料がかかる為、エコ活動はもちろん経費削減の為にも、皆に呼び掛け、引き続き、一般廃棄物の測量を続け、次年度こそは目標を達成できるよう取り組みます。

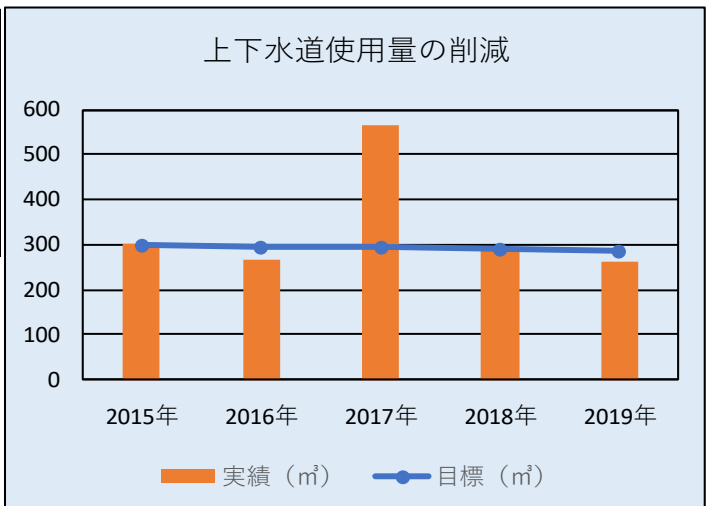
5) 上下水道使用量の削減（サイト：事務所・工場）

上下水道使用量の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標 (m³)	300	297	294	291	288
実績 (m³)	300	267	567	294	264

水道の使用量は、目標達成できました。このまま、削減を継続していきたいです。

※2017年度のグラフが突出している原因は普段使わない水道栓の漏れに気づかなかった為です。改めて、蛇口の閉め忘れなどないように周知しました。



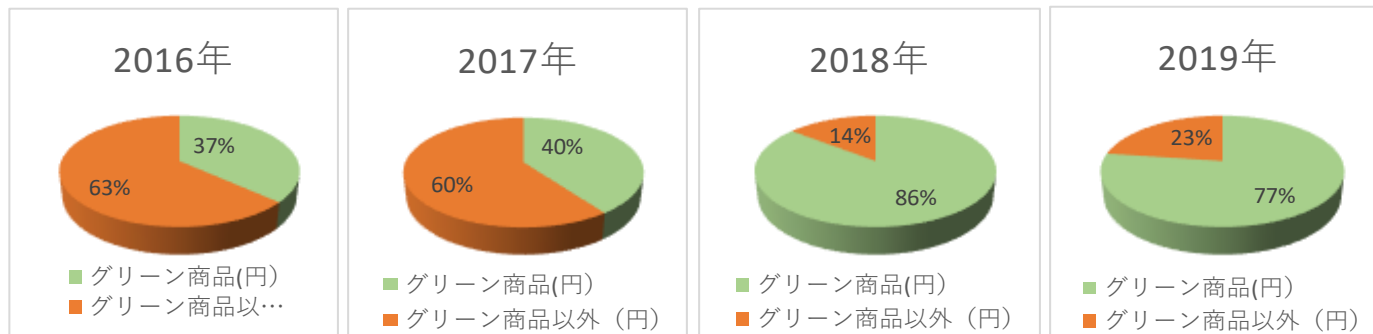
メーターを点検中……



6) グリーン購入推進（サイト：事務所・工場）

グリーン購入推進の年間推移グラフ

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
グリーン商品(円)		70,596	136,739	229,694	156,823
グリーン商品以外(円)		121,386	204,310	38,538	46,146
合計		191,982	341,049	268,232	202,969
グリーン商品購入率(%)		36.70%	40.00%	85.60%	77.20%



グリーン購入を始めた、2016年から徐々に増え始めたグリーン購入率ですが、昨年よりは少し下がってしまいました。

しかし、目標の37%以上は達成できています。

引き続き、グリーン商品を意識した購入を進めていこうと思います。

～ エコアクション会議の様相 ～



他の部署の方たちと、エコに関して意見交流ができ、とても良い機会となっています。

7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、レポート 4 ページの環境経営目標と変わりありません。

また、環境経営計画もレポート 5 ページの環境経営計画と変わりありません。

8. 環境活動の取組とその評価

8-1 太陽光パネルの設置

平成25年11月に工場の広大な屋根を生かして、209枚の太陽光パネルを設置しました。
これにより、年間約39,461kWhの発電になっています。

太陽光は無限のエネルギーであり、設置する事だけで発電できる事やCO2や有害物質を一切排出しない事です。

弊社では、定期的に清掃を行い、発電を妨げないように努めています。



太陽光設備の概要

連系する電力系統: 高圧一般配電線(三相3線、6.6kV、60Hz)

発電設備の種類: 太陽電池発電所

太陽電池容量: 52.25kW

パワーコンディショナ容量: 45kW(10kW×4台、5kW×1台)

(モジュール板 209枚 H1650 W992)

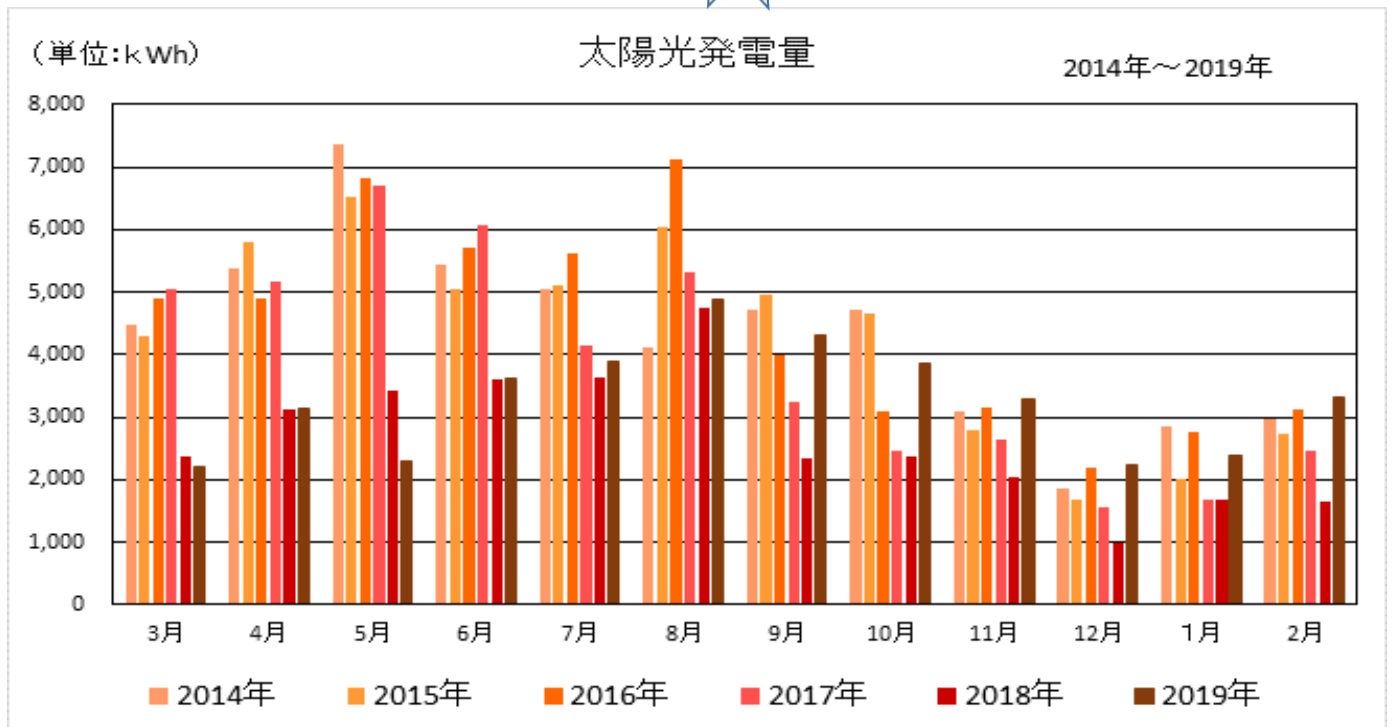
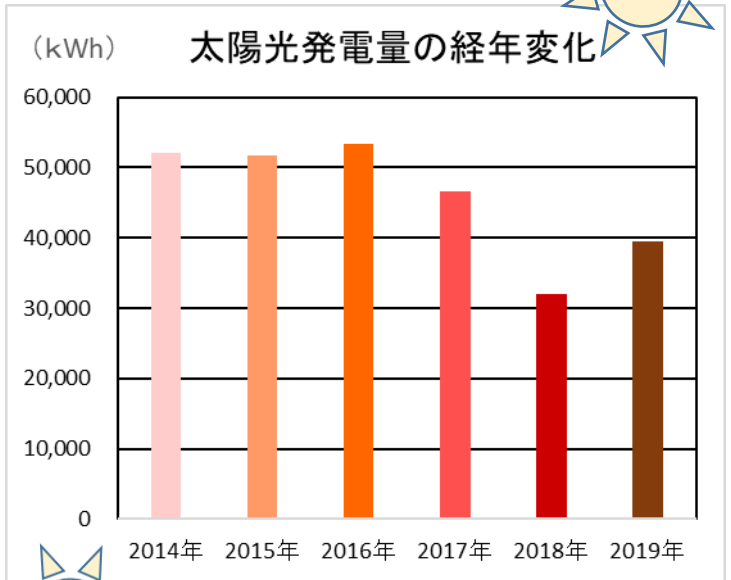
1枚あたり 250W出力

逆潮流の有無: 逆潮流有り

設置年月日: 2013年11月15日

太陽光発電量(kWh)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
3月	4,477	4,283	4,894	5,041	2,360	2,206
4月	5,390	5,792	4,907	5,177	3,135	3,131
5月	7,367	6,529	6,816	6,709	3,424	2,290
6月	5,438	5,055	5,702	6,086	3,600	3,632
7月	5,057	5,113	5,612	4,133	3,646	3,900
8月	4,114	6,030	7,131	5,323	4,739	4,892
9月	4,714	4,969	4,001	3,253	2,344	4,321
10月	4,706	4,648	3,099	2,469	2,358	3,864
11月	3,099	2,803	3,159	2,653	2,033	3,303
12月	1,872	1,688	2,198	1,553	989	2,236
1月	2,864	2,013	2,776	1,688	1,669	2,375
2月	2,974	2,724	3,132	2,473	1,641	3,311
合計	52,072	51,647	53,427	46,558	31,938	39,461



持続性可能な社会を目指すうえで、化石燃料に頼らない再生可能エネルギーの太陽光発電は二酸化炭素削減において有効な取組だと思えます。

※2018年～2019年5月まで、太陽光発電の機器のトラブルに気づかず、発電量が落ちていましたが、2019年6月に修理を依頼し、今年度は39,461 kWhの発電になっています。



8-2 緊急避難訓練

想定した緊急事態

工場からの火災

対応策

1.火災の対応策

①必要な備品など

粉末消火器設置場所へ『消火器設備』と表記

②緊急事態連絡

消防署119番への通報

2.具体的な対応策

①第一発見者は、直ちに付近にいる人に知らせると共に粉末消火器で初期消火活動を行う。

→第一発見者

②皆に火災を知らせ『緊急事態連絡』

消防署119番へ通報する。

→第一発見者及び近くにいる者

③全従業員は、初期消火可能と判断される場合は、消火器にて初期消火する。

→全従業員

④二次火災を防ぐ為、可能なら電源盤の電源を遮断する。不可能ならば避難する。

3.対応処置手順等

・避難場所は建物西側とし、人員の確認及びけが人の情報を報告する。

※外出先での火災等の災害に遭遇した場合は、避難終了後、事務所に所在と身の安全を報告する。

糟屋南部消防署の方に来社して頂き、消火訓練を行い消火器の使用方法など、指導してもらいました。



2019年9月27日

9. 環境関連法規等の遵守結果

2019年度(平成30年3月～平成31年2月)の事業活動で遵守すべき法令は以下のとおりです。
また外部からの苦情や法令違反の指摘もありませんでした。
遵守確認の結果、法令違反はありませんでした。

法令名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物(委託)	○
	産業廃棄物(排出責任者)	○
	情報処理センターへの登録・確認	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実地	○
労働安全衛生法	健康診断の実施	○
地球温暖化対策推進法	事業者の責務	○
グリーン購入法	事業者及び国民の責務	○

備考) 遵守状況の判定 ○: 遵守 ×: 法令違反 —: 該当なし

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

昨年同様、担当者・責任者間では有効に機能しているが、全社員としては、まだまだPDCAのサイクルがうまく循環していない状況です。

4年目の取組となりますが、なぜエコアクション21を始めたのか、何のために取組を行っているのかを、一人一人が考えていけば、おのずと有効に機能していくはずです。

エコアクション21のシステム構築を強化し、環境経営の概念を共有し、それぞれが理解を深めることで、今後のエコ活動や組織の活性化が期待できると思います。

代表取締役 遠山 貴広